

第48回 栗東歴史民俗博物館協議会

平成31年3月1日(金)14:00～
於：栗東歴史民俗博物館 会議室

1. あいさつ

2. 委嘱状の交付について

3. 協議事項

- ① 会長・副会長の選出について
- ② 平成30年度博物館事業について
- ③ 平成31年度博物館事業について
- ④ その他

4. 閉会

市民憲章

わたくしたちは、緑と文化のまち栗東市の住民であることに喜びと誇りをもって、この憲章を定め、あすへの繁栄と幸福を願い、進んでこれを守ります。

- 1. 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 1. 教養を高め、豊かな文化の創造につとめましょう。
- 1. 若い力を伸ばし、すこやかな青少年を育てましょう。
- 1. 心とからだを鍛え、幸せな家庭をつくりましょう。
- 1. 隣人互いに助け合い、住みよい町をきずきましょう。

(昭和52年1月制定・平成13年10月1日市制施行に伴い改正)

栗東歴史民俗博物館協議会委員名簿

任期 平成 31 年（2019 年）2 月 1 日～平成 33 年（2021 年）1 月 31 日

氏 名	所 属 等
大 西 洋 子	栗東音楽振興会理事
大 橋 信 弥	元滋賀県立安土城考古博物館学芸課長
川 波 重 和	栗東市立大宝小学校校長
國賀 由美子	大谷大学文学部歴史学科教授・大谷大学博物館館長
渋 江 善 光	栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会会長
月 野 み つ	社会教育講座講師
中 野 光 一	栗東市社会教育委員
西 尾 悦 子	元治田東主任児童委員
山本 喜三雄	栗東市文化協会会長
吉 見 静 子	栗東市文化財審議会委員

I. 平成 30 年度の博物館事業について

平成 30 年度 栗東歴史民俗博物館運営基本方針

* 「基本方針」は中・長期的な設置目的と運営方針です。

「重点目標」は年度単位での具体的な重点課題を示すものです。

1. 基本方針

栗東歴史民俗博物館は、地域の優れた歴史的文化遺産を市民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く市民に提示することを目的としています。地域文化を物語る資料の掘り起こしを進め、展覧会や体験学習をとおして資料の公開、活用に努めます。住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動を支援し、市民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、地域とともに歩み、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与してまいります。

2. 重点目標 「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して」

歴史民俗博物館では、歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる資料の収集・保存・調査・研究を進めます。その成果を基に通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実に努めるとともに、5本の特集展示などの展覧会を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる機会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する小地域展では、葉山地域から出庭地区をとりあげ、地域資料の再発掘に努めます。

また今年度は、市民とともに楽しみ、活動する博物館を実現するために、ともに活動してきた市民学芸員の会が設立から10年を迎えます。市民学芸員の会と歴史民俗博物館の10年の活動を総括し、新たな飛躍へとつなげることを目的に「栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会・栗東歴史民俗博物館協働活動10周年記念事業」（栗東市元気創造事業）を行い、市民学芸員の活動に関連した講座や展示を開催します。

引き続き、市民とともに楽しみ、活動する博物館を目指して、市民学芸員の自主的な学習支援をすすめるとともに、市民学芸員の協力を得ながら、共催する公開講座や、博物館講座「かまどめしを炊こう!!」など旧中島家住宅を活用した事業を開催します。

博物館収蔵資料の適切な環境下での保存を図るため、老朽化の進んだ施設や機器のリニューアル計画の策定を進めます。

平成 30 年度の事業

1. 展 覧 会 事 業

1) 通史展示「栗東の歴史と民俗」

2) 特集展示

○小地域展「坊袋の歴史と文化」

会期：3月10日（土）～5月6日（日）、入館者数：974人

展示解説会：4月21日（土）

（※4月1日（日）～5月6日（日）の入館者数：584人）

○特集展示 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会・栗東歴史民俗博物館協働活動10周年記念事業

「博物館を楽しもう！～市民学芸員の会10年のあゆみ～」【栗東市元気創造事業】

会期：5月19日（土）～7月1日（日）、入館者数：623人

○特集展示「平和のいしずえ2018 戦下の人びと」

会期：7月14日（土）～9月2日（日）、入館者数：1,560人

展示解説会：7月21日（土）

○特集展示「村の学問」

会期：9月15日（土）～11月4日（日）、入館者数：1,782人

展示解説会：9月15日（土）、10月7日（日）、10月20日（土）、11月4日（日）

○特集展示「栗東創世記－聖火が栗東を走ったころ－」

会期：2月2日（土）～3月3日（日）、2月28日までの入館者数：3,696人

展示解説会：2月2日（土）、2月24日（日）

○小地域展「出庭の歴史と文化」

会期（予定）：3月16日（土）～5月6日（月）

展示解説会（予定）：3月24日（日）

2. 各 種 講 座

1) 特集展示などの関連事業

○栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会・栗東歴史民俗博物館協働活動10周年記念事業

- ・歴史探索「市民学芸員・栗東歴史民俗博物館学芸員による『都名所図会』案内
～山科から伏見へ『都名所図会』に栗東の歴史をたどる～

開催日：5月26日（土）、参加者：34人

- ・講演会「博物館を楽しもう！～人生を豊かにする博物館の活用法 鉄道模型・藤織り・骨格標本～」

講師：井之本 泰さん（丹後藤織り保存会会長）

坂根 博子さん（丹後藤織り保存会）

西澤 真樹子さん（大阪市立自然史博物館 なにわホネホネ団団長）、

乾 公正さん（なにわホネホネ団）、

栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会竹村定治コレクション整理部隊

コーディネーター：佐々木 進さん（栗東歴史民俗博物館 元館長）

開催日：6月10日（日）、参加者数：15人

・ワークショップ「博物館をトコトン楽しもう！旧中島家住宅ワークショップまつり」

講師：宮奥 淳司さん（一級左官技能士）、協力：市民学芸員の会、かまど再生サポーター

開催日：10月13日（土）、参加者数：約120人

・講演会「市民学芸員の会 10年のあゆみとこれからの展望 ～博物館への市民参画の可能性～」

講師：佐々木 進さん（元 栗東歴史民俗博物館館長）

開催日：10月21日（日）、参加者数：19人

○公開歴史講座「近江のサンヤレ踊り」

講師：矢田 直樹さん（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課）

市民学芸員の会・栗東市ボランティア観光ガイド協会 共催

開催予定日：3月23日（土）

2) 博物館講座「かまどめしを炊こう!!」

開催日時：4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、10月20日、
11月17日、3月16日（予定） いずれも土曜日 10時～14時ごろ

定員毎回20人 11月17日開催分まで8回の参加者数：大人55人、子ども59人 計114人

3) まちづくり出前トーク（主管課：広報課）

- ・下鈎蓮寿会 実施日：6月29日（金） 参加者数：27人
- ・サロン東小平井 実施日：10月17日（水） 参加者数：31人

4) 文化財関連事業への協力（講師派遣）

- ・近江歴史回廊倶楽部 実施日：6月8日（金）
- ・コミュニティセンター金勝「金勝の歴史講座 金勝十二景の世界」 実施日：6月12日（火）
- ・子育て支援学級「小中合同研修社会見学」 実施日：6月23日（土）
（主催：湖南市みくも地域人権福祉市民交流センター）
- ・はつらつ教養大学（主管課：生涯学習課）大宝学区「大宝地域の歴史」 実施日：9月13日（木）
- ・文化財継承人づくりアクティブラーニング・モデル事業
「中高生のための近江の文化財講座(民俗文化財コース)」
（主催：滋賀県教育委員会事務局文化財保護課） 実施日：9月22日（土）
- ・景観を考えるウォーキング&写真講座（主管課：都市計画課） 実施日：11月17日（土）
- ・第29回生き方カフェ（主管課：長寿福祉課）「葉山学区のあゆみ」 実施予定日：3月15日（金）

5) 博物館夏祭り実行委員会「第12回博物館夏祭り」合同ワークショップ

主催：博物館夏祭り実行委員会（県内の14の博物館等が組織する任意団体）

実施プログラム「竿ばかりで重さを量ってみよう！」

協力：栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会

開催日：7月16日（月・祝）、会場：ビバシティ彦根

来場者数：約1,600人、竿ばかり体験者数：177組

3. 博学連携事業

1) 博物館教室「昔の暮らし」 対象：栗東市内及び近隣市町の小学3年生

参加校数：22校（22回開催）

参加人数：受講児童数1,354人＋引率者数87人

うち、栗東市立小学校 8校（9回開催）：受講児童数668人＋引率35人

月 日	学 校 名	参加人数（児童＋引率）
9月20日（木）	豊郷町立日栄小学校3年生	37人＋4人
10月12日（金）	草津市立笠縫東小学校3年生	107人＋6人
10月18日（木）	大津市立比叡平小学校3年生	20人＋2人
10月24日（水）	甲賀市立甲南第三小学校3年生 甲賀市立甲南中部小学校3年生	36人＋2人 （※2校合同で受講）
10月25日（木）	近江八幡市立島小学校3年生	12人＋3人
10月25日（木）	竜王町立竜王小学校3年生	66人＋5人
11月15日（木）	栗東市立大宝小学校3年生	68人＋3人
11月15日（木）	（※2回に分けて受講）	68人＋3人
11月20日（火）	草津市立矢倉小学校3年生	85人＋6人
11月22日（木）	草津市立南笠東小学校3年生	66人＋4人
12月11日（火）	栗東市立治田小学校3年生	93人＋4人
12月14日（金）	滋賀県立豊話学校小学部3年生	5人＋3人
1月17日（木）	野洲市立三上小学校3年生	34人＋3人
1月18日（金）	栗東市立大宝東小学校3年生	67人＋5人
1月23日（水）	草津市立常盤小学校3年生	46人＋4人
1月24日（木）	栗東市立葉山東小学校3年生	73人＋4人
1月25日（金）	守山市立吉見小学校3年生	115人＋6人
1月29日（火）	栗東市立治田西小学校3年生	79人＋4人
1月29日（火）	栗東市立金勝小学校3年生	78人＋4人
1月30日（水）	栗東市立治田東小学校3年生	81人＋4人
1月31日（木）	栗東市立葉山小学校3年生	61人＋4人
2月27日（水）	湖南市立水戸小学校3年生	57人＋4人

2) 職場勤労体験学習の受け入れ（チャレンジウィーク）

受入数：2校4人

栗東市立栗東西中学校 6月5日（火）～ 6月8日（金）（4日間） 2人

栗東市立葉山中学校 10月23日（火）～ 10月26日（金）（4日間） 2人

3) 博物館実習生の受け入れ

受入数：2大学3人

受入期間：8月21日（火）～ 8月26日（日）6日間

受入大学：同志社大学、佛教大学(2人)

4) 博物館実習生(施設見学)の受け入れ

受入日：8月1日(水)／受入大学：佛教大学／人数：31名

受入日：11月10日(土)／受入大学：京都造形芸術大学／人数：25名

5) その他

龍谷大学社会学部による「栗東市の左義長に関する調査」への調査協力・原稿執筆

4. 市民参画推進事業

1) 市民学芸員の会(市民学芸員支援事業) 会員数：21人

- ・『都名所図会』輪読会の開催 月1回
- ・現地見学会 11月24日(土)：京都の社寺遺跡をめぐる-3
12月22日(土)：京都の社寺遺跡をめぐる-4
- ・竹村コレクション(鉄道資料コレクション)の調査および整理 月2回程度
- ・博物館講座「かまどめしを炊こう!!」への参画(参加者への体験指導・補助)
市民学芸員による補助(8回開催)：延べ11人
- ・「第12回博物館夏まつり」への参画(竿舂体験指導・補助) 市民学芸員による補助：7人
- ・栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会・栗東歴史民俗博物館協働活動10周年記念事業の共催
歴史探索「市民学芸員・栗東歴史民俗博物館学芸員による『都名所図会』案内」
講演会「博物館を楽しもう! ～人生を豊かにする博物館の活用法 鉄道模型・藤織り・骨格標本～」
ワークショップ「博物館をトコトン楽しもう! 旧中島家住宅ワークショップまつり」
講演会「市民学芸員の会 10年のあゆみとこれからの展望 ～博物館への市民参画の可能性～」
- ・公開歴史講座「近江のサンヤレ踊り」 栗東市ボランティア観光ガイド協会 共催

2) RISSミュージアムロビーコンサート (栗東音楽振興会との共同開催)

- ・RISSミュージアムロビーコンサート32
アコーディオン&クラリネット～風を操る楽器で聴く、自然の声、心の歌～
出演者：森 健太郎(アコーディオン・クラリネット)、山口 美樹子(ピアノ)
開催日：5月6日(日)、来場者数123人
- ・RISSミュージアムロビーコンサート33
クラシックギター(モダンタイプ)と19世紀ギターの共演
出演者：佐々木 滋隆(ギター)、奥野 隆(ギター)、ミュージックベル(栗東音楽振興会)
開催日：7月22日(日)、来場者数154人
- ・RISSミュージアムロビーコンサート34 ～秋の夜長にJAZZでお月見コンサート～
※栗東自然観察の森・栗東歴史民俗博物館・栗東市立図書館による
3施設連携事業「3施設秋めぐり」の一環として開催
出演者：ザ・ストレンジ・ホーンズ
開催日：10月27日(土)、来場者数159人
- ・RISSミュージアムロビーコンサート35 ～京の気品に満ちて・・・はんなりクラシック～
出演者：木管アンサンブル「はんなり」
開催日：1月27日(日)、来場者数111人

3) 安養寺山音楽会への会場提供（「栗東市元気創造まちづくり事業」）

・ちょっといっぷく音楽会・夏のコンサート

出演者：ウクレレおじさん、Marine、Twilight Boys

開催日：8月5日（日）、来場者数：87人

・ちょっといっぷく音楽会・Christmas Concert

出演者：YUDA I（シンガーソングライター）

開催日：12月16日（日）、来場者数：43人

5. 寄贈・寄託

1) 寄贈資料

- 筚・櫛（木箱入り／鼈甲製）1組、筚・櫛（木箱入り／蒔絵風）1組、筚（鼈甲製）7本、櫛（鼈甲製）2本、簪（ガラス製）1本、簪（木箱入り／鼈甲製）1本
- 大日本国防婦人会襷 1本、愛国婦人会襷 1本
- 宮城家伝来資料 5点（宮城豊盛公肖像画 1幅、法然上人像 1幅、善導大師像 1幅、宮城家伝来刀剣（模造品）：1口、宮城家系図 1点）
- 1964年東京オリンピック聖火リレー等写真 16枚

2) 寄託資料

- 真崎家資料 14点（掛軸 14幅）
- 興源寺資料 2点（絹本著色文殊菩薩像 1幅、絹本著色十三仏像 1幅）

6. その他

- 盗難…5月5日 旧中島家住宅内に展示していた火熨斗・チロリの盗難
- *12月に旧中島家住宅セキュリティシステムを整備
- 台風による破損…8月23日～24日 台風20号により旧中島家住宅門扉破損
- *9月中に修繕工事を実施

平成 30 年度の博物館利用者数等

① 平成 30 年度入館者数（平成 31 年 2 月 28 日現在）

	入館者数			合計	有料入館者数	研修室等利用者数	旧中島家住宅入館者数	人数/日数	開館日数
	一般	高・大生	小・中生						
4月	311	0	59	370	0	48	172	14.23	26
5月	367	1	62	430	0	29	116	26.88	16
6月	321	0	73	394	0	78	145	15.15	26
7月	475	1	156	632	0	170	102	39.50	16
8月	631	50	221	902	0	271	180	33.41	27
9月	203	8	102	313	0	55	141	19.56	16
10月	978	2	382	1,362	0	737	701	52.38	26
11月	298	11	345	654	0	399	351	29.73	22
12月	134	0	118	252	0	154	143	18.00	14
1月	473	0	728	1,201	0	764	815	52.22	23
2月	2,471	0	1,505	3,976	0	3,795	585	165.67	24
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	6,662	73	3,751	10,486	0	6,500	3,451	41.61	236

○研修室利用

- ・各種講座
- ・第 49 回 栗東市青少年美術展（平成 31 年 2 月 1 日～3 日）
- ・第 65 回 滋賀県教育美術展（平成 31 年 2 月 6 日～20 日）

ほか、絵画展、各種会議など

○会議室利用

- ・栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会 『都名所図会』 輪読会（月 1 回）
- ・栗東古文書研究会例会（月 2 回）

ほか、各種会議など

○旧中島家住宅（国登録有形文化財）

- ・博物館教室「昔のくらし」（年間 22 校受入 22 回開催）
- ・かまどの火吹き体験（土日祝日を中心に年間 150 日実施）
- ・文化財継承人づくりアクティブラーニング・モデル事業

「中高生のための近江の文化財講座（民俗文化財コース）」

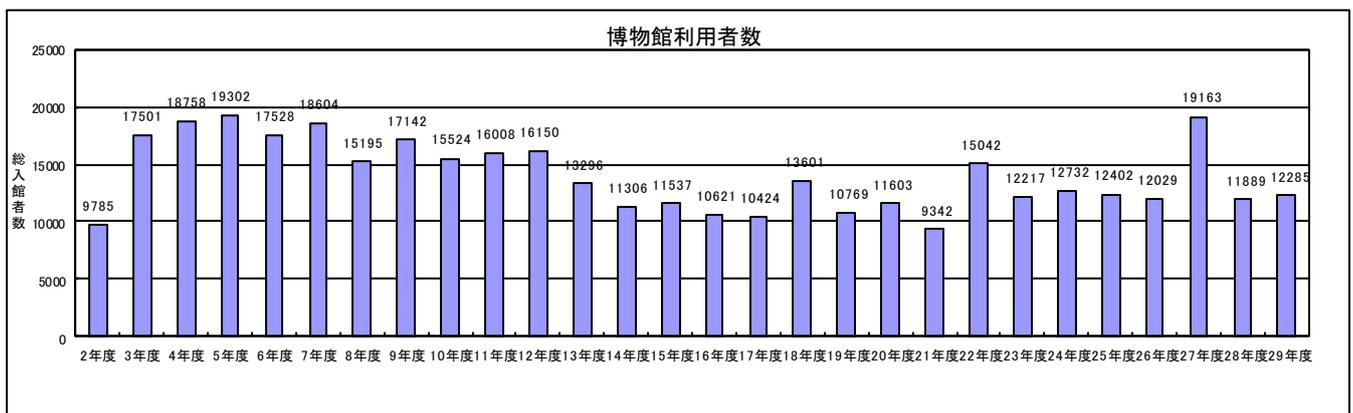
（滋賀県教育委員会事務局文化財保護課との共催）

ほか、貸し出し利用

②栗東歴史民俗博物館 累計利用者数 (平成29年度まで)

	入館者数			合 計	有 料 入館者数	研修室等 利用者数	旧中島家住宅 入 館 者	人数/日数	開 館 日 数
	一般	高・大生	小・中生						
2年度	7,480	195	2,110	9,785	1,746	584	—	63.95	153
3年度	12,346	472	4,683	17,501	2,634	3,620	—	58.73	298
4年度	12,620	718	5,420	18,758	3,845	3,422	—	66.05	284
5年度	13,266	870	5,166	19,302	3,984	5,435	—	67.02	288
6年度	12,404	635	4,489	17,528	3,481	6,990	11,902	60.86	288
7年度	13,248	902	4,454	18,604	3,354	6,247	9,168	63.71	292
8年度	11,559	468	3,168	15,195	3,738	7,063	7,547	53.50	284
9年度	13,052	432	3,658	17,142	3,400	3,702	7,949	59.11	290
10年度	11,595	332	3,597	15,524	2,339	6,877	7,676	54.86	283
11年度	11,976	359	3,673	16,008	3,117	6,090	8,129	56.36	284
12年度	12,082	417	3,651	16,150	3,033	5,876	8,643	56.27	287
13年度	9,029	442	3,825	13,296	2,403	467	8,979	47.15	282
14年度	8,814	390	2,102	11,306	2,299	2,370	6,614	38.99	290
15年度	8,094	343	3,078	11,537	2,780	5,387	7,201	42.89	269
16年度	7,142	196	3,283	10,621	2,213	4,372	6,227	40.69	261
17年度	6,942	180	3,302	10,424	2,285	3,848	4,841	39.63	263
18年度	8,700	187	4,714	13,601	2,278	7,100	5,678	53.13	256
19年度	7,714	177	2,878	10,769	2,063	6,278	4,840	39.30	274
20年度	8,119	147	3,337	11,603	1,602	5,462	4,967	44.29	262
21年度	7,784	79	1,824	9,687	—	5,291	4,256	35.48	273
22年度	9,658	45	5,339	15,042	—	8,190	4,930	61.90	243
23年度	6,642	59	5,516	12,217	—	8,729	4,707	48.67	251
24年度	8,072	76	4,584	12,732	—	7,591	5,086	51.34	248
25年度	7,516	71	4,815	12,402	—	7,361	5,074	50.01	248
26年度	7,051	70	4,908	12,029	—	7,256	4,988	47.92	251
27年度	11,610	139	7,414	19,163	—	11,036	5,592	76.04	252
28年度	7,693	68	4,128	11,889	—	7,283	4,999	50.38	236
29年度	8,329	75	3,881	12,285	—	7,224	4,160	46.89	262

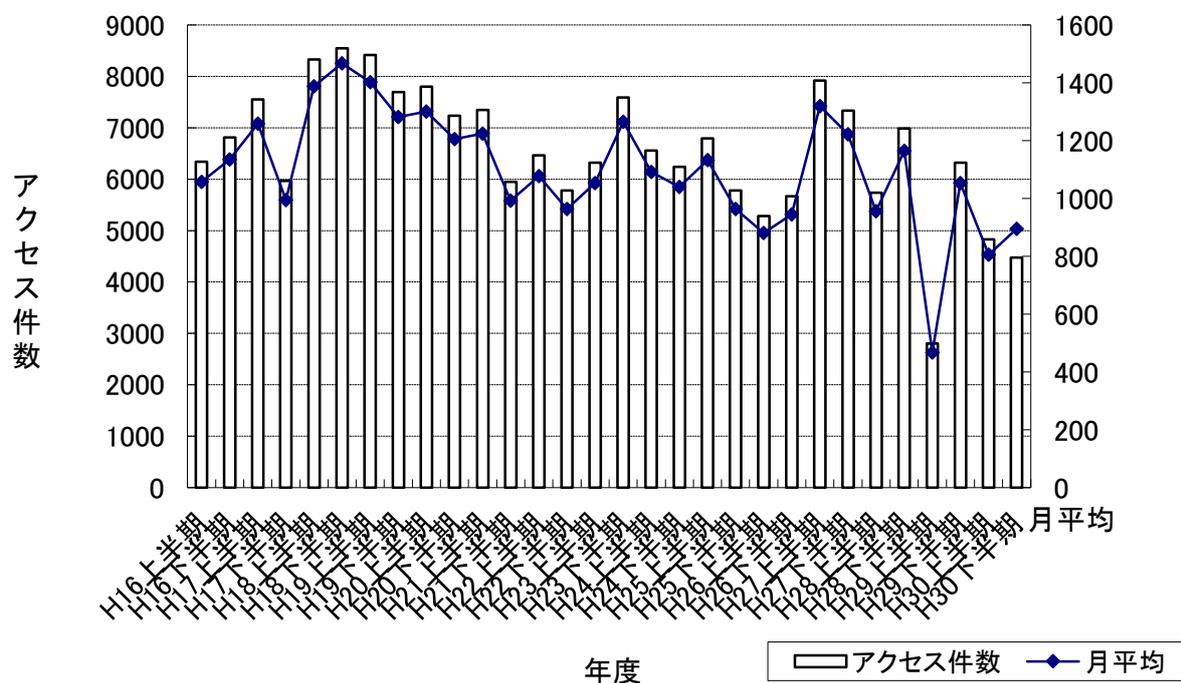
*平成30年4月1日現在



③ホームページアクセス数（平成31年2月28日現在）

平成23年度上半期（平成23年9月末日）	6,319件	（月平均 約1,053.0件）
平成23年度下半期（平成24年3月末日）	7,590件	（月平均 約1,265.0件）
平成24年度上半期（平成24年9月末日）	6,557件	（月平均 約1,092.8件）
平成24年度下半期（平成25年3月末日）	6,242件	（月平均 約1,040.3件）
平成25年度上半期（平成25年9月末日）	6,794件	（月平均 約1,132.3件）
平成25年度下半期（平成26年3月末日）	5,782件	（月平均 約963.7件）
平成26年度上半期（平成26年9月末日）	5,281件	（月平均 約880.2件）
平成26年度下半期（平成27年3月末日）	5,667件	（月平均 約944.5件）
平成27年度上半期（平成27年9月末日）	7,918件	（月平均 約1319.7件）
平成27年度下半期（平成28年3月末日）	7,334件	（月平均 約1222.3件）
平成28年度上半期（平成28年9月末日）	5,735件	（月平均 約955.8件）
平成28年度下半期（平成29年3月末日）	6,988件	（月平均 約1164.7件）
平成29年度上半期（平成29年9月末日）	2,802件	（月平均 約467.0件）
平成29年度下半期（平成30年3月末日）	6,318件	（月平均 約1053.0件）
平成30年度上半期（平成30年9月末日）	4,830件	（月平均 約805.0件）
平成30年度下半期（平成31年2月末日）	4,477件	（月平均 約895.4件）

栗東歴史民俗博物館 ホームページアクセス件数



Ⅱ. 平成 31 年度の博物館事業について

平成 31 年度 栗東歴史民俗博物館運営基本方針（案）

1. 基本方針

栗東歴史民俗博物館は、地域の優れた歴史的文化遺産を市民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く市民に提示することを目的としています。地域文化を物語る資料の掘り起こしを進め、展覧会や体験学習をとおして資料の公開、活用に努めます。住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動を支援し、市民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、地域とともに歩み、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与してまいります。

2. 重点目標 「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して」

歴史民俗博物館では、歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる資料の収集・保存・調査・研究を進めます。その成果を基に通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実に努めるとともに、5本の特集展示などの展覧会を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる機会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する“小地域展”では、大室地域から北中小路地区をとりあげ、地域資料の再発掘に努めます。

関連機関や施設との連携を深めることを目的に、野洲市および守山市の博物館・資料館との共催事業として、【野洲川放水路通水 40 周年記念】特集展示「野洲川と栗東の暮らし」（仮称）を開催します。また、栗東自然観察の森・栗東市立図書館との共催事業「3 施設秋めぐり」を引き続き開催し、各施設の利用促進を図ります。ほかに、前年度に開催した特集展示「栗東創世記～聖火が栗東を走ったころ～」の調査成果を活かし、「トーク&8mm映像上映 聖火が栗東を走ったころ」（栗東市元氣創造事業）を開催します。

市民とともに楽しみ、広く活動する博物館として、市民学芸員の会や栗東市ボランティア観光ガイド協会の協力を得て各種講座を開催するほか、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への出前講座等の機会を活用して、栗東の歴史や文化の普及啓発に努めます。加えて、市民に活用される、開かれた博物館づくりを進めるため、栗東音楽振興会（RISS）との共催事業「RISS ミュージアムロビーコンサート」を引き続き開催するほか、秋季に馬事業企画室が開催する「第 25 回馬の絵作品展」等への協力を通して、利用者層の拡大を目指します。

博物館収蔵資料の適切な環境下での保存を図るため、老朽化の進んだ施設や機器の予防保全に努めるほか、平成 31 年度（2019 年度）が策定の年次にあたっている「公共施設等総合管理計画（個別施設計画）」をはじめ、開館から 30 年近くが経過した施設の大規模改修について具体的に計画していきます。

平成31年度の主要事業（案）

1. 資料調査事業

- 1) 収蔵資料目録化作業
- 2) 地域に関わる資料の調査

2. 展覧会開催事業

- 1) 通史展示「栗東の歴史と民俗」
- 2) 特集展示など
 - ・小地域展「出庭の歴史と文化」※平成30年度からの継続事業 ～ 5月6日（月・休）
 - ・【野洲川放水路通水40周年記念】
特集展示「野洲川と栗東の暮らし」（仮称） 5月25日（土）～ 7月15日（月・祝）
 - ・特集展示「平和のいしずえ2019」（仮称） 7月27日（土）～ 9月1日（日）
 - ・特集展示「えがかれたいのり—絵馬・額—」（仮称） 9月14日（土）～ 11月24日（日）
 - ・特集展示「栗東歴史民俗博物館の“昔の暮らし”」（仮称） 12月7日（土）～ 3月1日（日）
 - ・小地域展「北中小路の歴史と文化」 3月14日（土）～

3. 各種講座

- 1) 公開講座・講演会
 - ・展覧会に関連する公開講座
 - ・外部から講師を招いての講演会
- 2) 博物館講座「かまどめしを炊こう!!」
 - ・4月～11月、3月に開催 月1回

4. 元気創造事業

- 1) 「トーク&8mm映像上映 聖火が栗東を走ったころ」開催事業 9月ごろ開催（予定）

5. 市民参画推進事業

- 1) 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会（市民学芸員支援事業）
 - ・『都名所図会』輪読会（月1回、年間数回の現地見学会）
 - ・竹村コレクション（鉄道資料）の調査・整理（月2回）
 - ・博物館講座「かまどめしを炊こう!!」への参画（参加者への体験指導・補助）
 - ・博物館が開催する公開講座、講演会への共催・後援（市民学芸員研修を兼ねる） など
- 2) RISSミュージアムロビーコンサート（栗東音楽振興会との共同開催）
 - ・RISSミュージアムロビーコンサートの開催（年間3回）

6. 博学連携事業

- 1) 博物館教室「昔の暮らし」（小学校3年生対象、教員対象の事前研修会の開催）
- 2) 職場勤労体験学習の受け入れ（チャレンジウィーク）
- 3) 博物館実習生の受け入れ

(協議会の会長及び副会長)

第27条 協議会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選により定める。

- 2 会長及び副会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第28条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。